

ほけんだより 《秋号》



10 月中も日中は暖かい日が続いていますが、朝夕は冷え込む時期になりました。お散歩に行くと色づいた葉がたくさん落ちており、色とりどりの葉っぱに子どもたちは興味津々です。また、感染症の時期になりますが、うがい・手洗いを徹底しお子さんを守っていきたいと思います。11 月もたくさん遊び、寒さに負けない体づくりをしていきましょう。



感染性胃腸炎は 11 月から 2 月が注意！！



ノロウイルス・ロタウイルスなどのウイルスが原因で、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛などの症状が見られ、発熱する場合もあります。下痢や嘔吐の症状がある場合は、早めに受診をし、脱水症状、こまめな水分補給を心掛けましょう。

保育園での嘔吐物等の処理方法について

保育園内でも注意して処理を行っていますが、感染力が強く毎年のように流行します。

保育園で嘔吐物や下痢、血液等が付着した衣類や布団類は、職員や他のお子さまへの感染予防のため洗わずにそのままビニール袋に入れてお持ち帰りいただくことになっております。ご了承ください。

嘔吐物が衣服、カーペットなどに付着したときは

※神奈川県厚木保健福祉事務所 HP より

- 嘔吐物を上記の手順で処理した後、0.02%の塩素系漂白剤などの次亜塩素酸ナトリウムを使って消毒する（浸けられるものは、30 から 60 分浸けておく）
- 洗えるものは、洗う
- 熱消毒の場合は、85℃を 1 分以上保つ（熱湯に浸けられれば理想的だが、大型で不可能なときはスチームアイロンをあてて熱で消毒する）

※熱湯をかけるだけではすぐに温度が冷めてしまうので、アイロンの方が手軽で効果的

※参考に見てみてください

感染症発生状況（9 月～10 月）



昨年は手足口病やウイルス性胃腸炎等の感染症が出ていましたが、今年は感染症にならず元気に過ごせています。

- その他、咳が出ていたり、発熱の園児が多くいます。
- 治癒後の登園時に、「登園届」や「意見書」が必要な感染症があります。「保育園のしおり」をご確認ください。

寒くなっても、動きやすい洋服を！

厚手の衣服は熱がこもってしまうだけでなく、汗をかいて体が冷え風邪をひいてしまうこともあります。下記の衣服は避けるようにし、薄手の衣服や、上着についてはフードのないウインドブレーカーのようなものでお願いいたします。

- ×裏起毛 ×フリース素材
- ×中綿やダウンの上着



感染症と診断された場合は必ずお知らせください

インフルエンザやコロナウイルスの他、胃腸炎、溶連菌やプール熱など感染症と診断されましたら、診断後すぐに保育園までお知らせいただくようご協力をお願いします。

インフルエンザにかかったことを保育園に伏せ、「解熱後間もないけれど元気だし登園させても問題ないだろう」と判断し無理に登園されると、お子さまの体に負担がかかりかえって回復が遅くなってしまったり、他の園児に感染が拡大し中には重症化してしまうお子さまが出てきてしまう場合もあります。



お仕事を長くお休みすることが難しかったり、どなたにも預けることが出来ない場合は、「ほけんだより 夏号」でお知らせいたしました病児保育や病後児保育のご利用もご検討をお願いします。（感染症の種類により受け入れできない施設もありますので各施設にお問い合わせください。）